

# 監 査 結 果

## 総合所見

### (1) 全体所見

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）拡大防止の観点から、市民と職員の合同チームによる現場確認やヒアリングは実施せず、すべて書面による状況確認となりました。監査員が事務局より送付された監査資料の内容を参照して個人としての評価コメントを作成し、その後、専門家が個々のコメントを総合して評価、所見の作成を行いました。

書面監査の結果、「環境基本計画目標達成状況監査」では多くの施策が概ね計画どおり順調に進捗し、令和2年度の計画目標を達成できたこと、「取組状況監査」では職員が環境への意識を高めて日々の環境配慮行動に取り組んでいることが確認できました。

### (2) 環境基本計画目標達成状況

令和2年度が環境基本計画（第2次）の終了年度であったため、すべての環境指標について目標達成状況と取組内容を点検しました。

監査対象となった指標34項目のうち、令和2年度の計画目標を達成した指標（◎）は18項目、目標未達の要因がCOVID-19の影響によることが明らかなもの（○）は5項目でした。

目標達成に至らなかった指標については、多くの項目でその原因が特定され、次期計画での対応方針について言及されていました。一部の項目は目標設定当時とは社会状況が変わってきたなどの事情もあるようです。

データが入手できず評価できなかった指標は3項目ありました。複数年度に渡る環境基本計画の性質から、毎年度データを入手することができない目標を設定することもあり得ますが、最終年度には何らかの形で調査を行うなど対応すべきであったと思います。計画の進捗状況をきちんと把握するためには、指標を設定する段階でデータの入手可能性を考慮する必要があることを認識し、次期計画につなげていただきたいと思います。

ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた環境活動が求められます。今後はSDGsへの取組も必要となるでしょう。気候変動、脱炭素等、活発な活動が求められる時代において、より幅広く市民参加を進めていくことが必要です。伊丹市環境部連絡会や自治会、社会福祉協議会、民生委員、消防団など、様々な団体に環境施策等の周知をすることも市民の理解を深めるひとつではないかと思えます。ますます積極的な取組を展開されることを期待します。

### (3) 環境配慮行動の取組状況

特定の監査対象を設定せず、全職員を対象としたクイズ形式の「環境マネジメントシステム取組状況チェックシート」を実施し、その集計結果を監査員が確認し所見を作成しました。全体的に正答率が高い項目が多く、市全体として職員の環境意識・行動レベルが高いことが確認できました。ただし、集計結果を解釈する際は、「知識として知っていること」と「実際に取り組んでいること」とは異なるという視点をもつ必要があるかと思えます。実際の取組状況については、

各実行責任者が定期的に所属内の現状を把握し、必要に応じた指導を行うことを欠かさずに続けていただくことをお願いします。

今回の「環境マネジメントシステム取組状況チェックシート」では、多くの職員の意識・理解度が把握でき、これにより市全体の現状を評価できるデータを獲得できたことは良かったと思います。クイズのように回答できるため、従来の監査よりも職員の負担感は少なかったのではないのでしょうか。所属ごとに集計することで、実行責任者が所属職員の状況を把握し、管理の改善につなげていくことができるため、所属ごとのマネジメントを強化できる良いツールになりました。繰り返し取組状況を確認することで職員の環境に対する意識が上がっていくことが期待できますので、ぜひ継続していただきたいと思います。

一方で、職員が2,000人程度のところ、Kintoneにより回答した人数が1,205人であり、回答率を上げる余地はまだありそうです。通知を知らずに回答をし忘れていた職員もいたようです。所属長からの周知やLoGoチャット等での職場内共有を積極的に呼びかけることも方法の一つではないでしょうか。回答率を高めるアクションを起こすことが、環境施策等に対する意識醸成や知識向上にもつながると思います。

#### (4) 事務局の取組について

COVID-19の影響で市民参加が困難な状況にもかかわらず、地域やあらゆる世代を巻き込んだの周知・啓発がされていることがよく分かりました。COVID-19に対応した監査方法を昨年度中にしっかりと確立されたあたりに事務局の意識の高さを感じました。今回導入したクイズ形式で全職員の意識や習熟度を測る方法は、職員の負担も少なく、全庁的に状況把握ができる点で有効な手法であったと思います。

しかし、対面でコミュニケーションを取ることでより詳しい状況が分かり、所属ごとの工夫や努力が見えてくる部分もあります。また、今回の書面監査では、所属ごとのPDCAサイクルに関する状況が見えてきませんでした。一般的な監査では、目標とこれに対する実績、取組のエビデンスを基に点検しますが、これらに関する情報が少なく、取組への姿勢のみでは評価が難しく感じられました。事務局として、ここ2年間の成果も踏まえ、新たな監査手法の検討を進めてまいります。

## 環境基本計画目標達成状況監査

- ・環境基本計画の数値目標（環境指標）の達成状況

### 令和2年度目標の達成状況

評価記号	評価基準	項目数	割合
◎	令和2年度計画目標を達成している。	18	53%
○	目標未達の要因が COVID-19 の影響によることが明らかなもの。	5	15%
△	取組んでいるが、単年度目標値は達成していない。	8	23%
—	評価できない（データ未入手）	3	9%

※詳細については、【資料1】を参照

令和2年度環境指標の目標達成状況一覧

【資料1】

個別目標	環境指標	令和2年度実績	計画目標 (令和2年度)	令和2年度達成状況	進行管理 担当部署	
1. 地球温暖化対策	①市の施設から排出される温室効果ガスの量（二酸化炭素換算）	25,321 t-CO <sub>2</sub>	28,577 t-CO <sub>2</sub>	◎	環境保全課	
	②市域からの温室効果ガス排出量（推計値）	632,045 t-CO <sub>2</sub>	868,308 t-CO <sub>2</sub>	◎		
	③エネルギー消費原単位の低減	102%	H21年度比 90%	△	環境保全課・教育委員会・上下水道局・病院	
	④公用車における低公害車の導入割合	23%	26%	△	管財課	
	⑤市域における最終エネルギー消費量	14,900TJ	16,240TJ	◎	環境保全課	
	⑥公園灯のLED化率	100%	100%	◎	公園課	
2. 水循環の再形成	①雨水貯留槽助成による貯留量	1.2 m <sup>3</sup>	4.2 m <sup>3</sup>	△	上下水道局	
	②透水性舗装面積	118,902 m <sup>2</sup>	109,000 m <sup>2</sup>	◎	道路保全課 道路建設課	
3. 環境教育・環境学習の推進	①環境体験学習の年間実施回数	全校実施 各校1回	全校実施 各校3回	○	学校指導課	
	②環境教育実施園数（実施園/10園）	100%	100%	◎	幼児教育推進課 こども発達支援センター	
	③昆虫館の入館者数	94,411人	144,000人	○	みどり自然課	
	④こども文化科学館の入館者数	48,783人	124,500人	○	こども文化科学館	
	⑤環境ポスター・標語の応募数	1,545件	3,900件	△	生活環境課	
4. 廃棄物の減量化と再資源化の推進	①ごみ発生量	62,222t	63,845t	◎	生活環境課 環境クリーンセンター	
	②市民1人1日あたりの燃やすごみの排出量	662g/人・日	653g/人・日	△		
5. 廃棄物の適正な処理	①最終処分量（埋立量）	7,072 t	7,339 t	◎	生活環境課 環境クリーンセンター	
6. 環境監視体制の充実と発生源対策の推進	①環境基準達成率	（大気）二酸化窒素	100%	100%	◎	環境保全課
		（水質）BOD	100%	100%	◎	
		騒音	90%	85%	◎	

7. 市民・事業者との協働による環境美化の推進	①地域清掃活動支援件数	722人	1,250人	△	生活環境課
	②市内一斉清掃参加人数	—	10,000人	—	
8. 公園とみどりの充実	①市域面積に対する水やみどりで覆われた面積の割合(みどり率)	29.7%	33%	△	みどり自然課
	②市域面積に対する永続性ある緑地面積の割合	19%	20%	△	みどり自然課 公園課
	③緑化や自然保護活動に参加した市民の割合	—	10%	—	みどり自然課
9. 自然環境との共生	①生物多様性の認知度	—	40%	—	みどり自然課
	②在来生物の種類数	123	105	◎	
	③カラスの個体数	46%	75%	◎	みどり自然課 環境クリーンセンター
10. 環境に配慮した都市の形成	①風致地区面積	122ha	122ha	◎	都市計画課
	②農地面積	113.07ha	109.34ha	◎	都市計画課 農業政策課
11. 美しい都市景観の形成	①景観計画区域内における行為の届けの内、基準に適合している割合	100%	100%	◎	都市計画課
	②屋外広告物の2年間の新設・更新の申請件数	812件	710件	◎	
12. 交通ネットワークの充実及び道路の整備	①市バス利用者数	13,289,115人	15,183,000人	○	交通局
	②市バス利用者数/総軽油使用量	9.50人/L	10.0人/L	○	
	③主要な道路の整備率	88.2%	87.2%	◎	道路建設課

## 環境配慮行動の取組状況監査

### ・環境マネジメントシステム取組状況チェックシート 集計結果

#### 取組状況チェックシートについて

環境マネジメントシステムが対象とする全所属を対象に、下記取組について設問を設定し、各項目に対する取組状況や、環境に対する理解度を確認しました。回答者 1205 人のうち、212 人が全問正解であり、各設問に対する正答率は図 1 の通りとなっています。

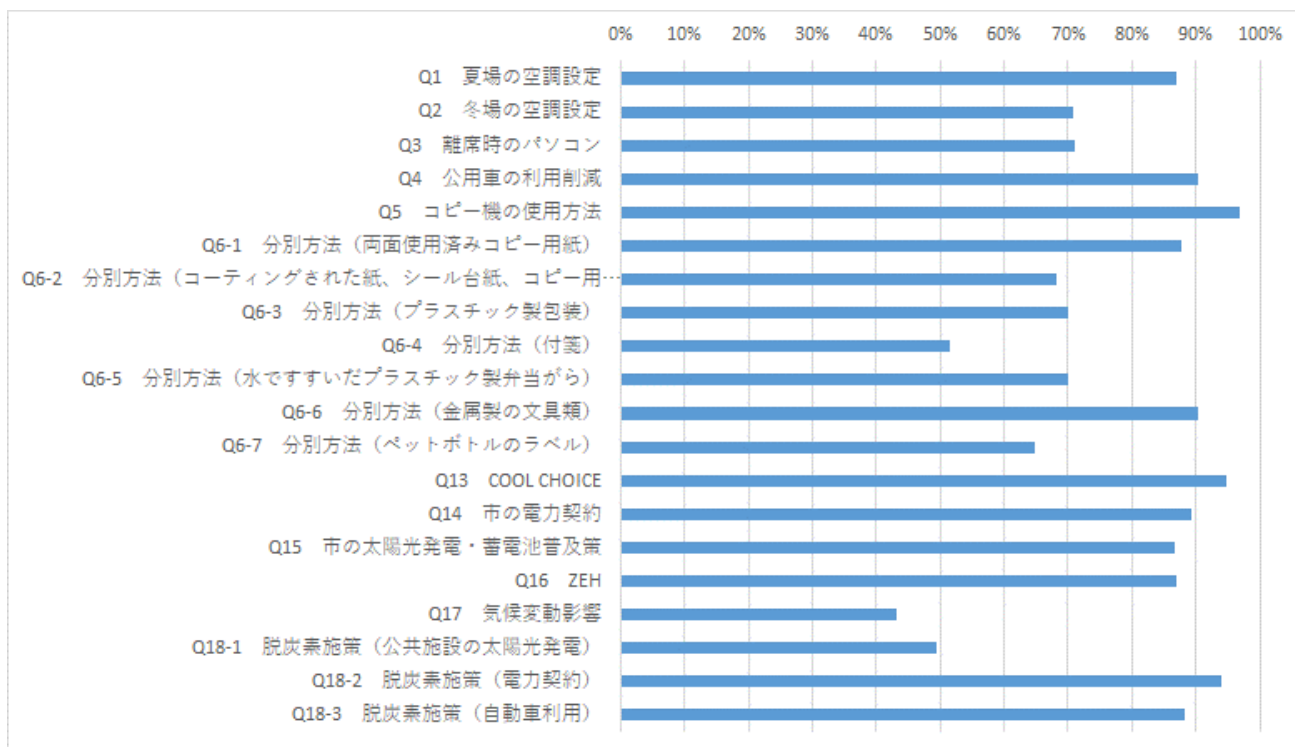


図 1. 設問別正答率